

# 健康づくりの指標に

## いわて東北M・M コホート調査の結果説明

住田町で



岩手医科大学のいわて東北メディカル・メガバンク機構による「健康調査(健診)にか

ら結果の内容に理解を深め、今後の健康づくりの指標としてい

同意し、採血と採尿、アンケート調査に協力。対象者には血液と尿検査の結果をす

胃については、検診によって胃がんや胃潰瘍、調査で行ったヘリ

最後に、今後も調査を継続することから、引き続き参加者らに協

参加した住民らは、通知された報告書と照らし合わせたり、質問も行って調査内容を理

この説明会は今後、大船渡市でも開催。20日(日)の午前10時と午後1時30分からは市保健介護センター、25日(金)の午前10時から末崎ふるさとセン

同町では354人が昨年秋に健康調査を受けた住民を対象とした集団結果説明会

このうち、同センターには地域住民20人余りが参加。同機構の臨床研究・疫学研究部門の丹野高三副部長が説明を行った。

また、ヘリコバクター・ピロリ抗体とペプシノーゲン法の各陽性者では将来、胃がんになるリスクが高いと言

トでは、6月から心電図や内臓脂肪など六つの生理機能検査を実施する件にも触れた。こ

仮設住宅入居者を対象としたサテライト型健康調査も行ったとい

報告書」を持参すること。

同機構は昨年、東日本大震災による被災地を中心とした地域の住民を対象に長期的な健康調査を行い、体質や生活習慣などから将来の病気発生リスクなどを調べるコホート調査をスタート。住田町、大船渡市を含む県内7市町村の健診会場で実施し、20〜74歳の8924人が参加に同意した。

説明会は、これら結果の見方を示し、同意者個々の状況把握や健康づくりの役立ててもらおうと企画。住民を対象とした開催は実施自治体の中で同町が初めてで、この日は保健福祉センターと上住地区公民館で開かれた。

検査では炎症による胃の粘膜の萎縮と、それぞれの有無が分かると解説。「調べられる特徴があり、これらを調べることで胃がどれくらい元気か分かる」と述べた。

住田地域診療センターに設けた気仙サテライ

この説明会は今後、大船渡市でも開催。20日(日)の午前10時と午後1時30分からは市保健介護センター、25日(金)の午前10時から末崎ふるさとセン

報告書」を持参すること。